

エマージング債市場アップデート

夏相場の終わりが近づく

2020年8月21日

グローバル市場の動き

先週もS&P500種指数は上昇基調となり、テクノロジー銘柄の底堅いパフォーマンスを背景に最高値を付けました。欧州及びエマージング（EM）株式市場には、同様の下支え要因はなく、リターンは前週比でほぼフラットとなりました。

経済指標からは、8月に入りモメンタムの鈍化が見られるものの、経済活動の回復が続いている内容が確認されました。アジアの貿易統計は好調であったほか、先進国の購買担当者景気指数（PMI）は上昇し、グローバルに製造業の回復は継続しています。米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録から目新しい情報は得られず、投資家の関心はジャクソンホールで予定されるパウエルFRB議長の政策見通しに関するスピーチに移っています。

EM債券市場では、クレジット市場が全体をアウトパフォームしました。スプレッドが小幅に拡大したものの、主要金利の低下がプラスに寄与するなか、代表的な指数のリターンはフラットとなりました。現地通貨建て市場では、通貨部分の弱含みが全体の足かせとなり、0.72%のマイナス・リターンとなりました。

個別国市場での出来事

トルコ： 足下でトルコ・リラの下落が見られるものの、中央銀行は政策金利を据え置きました。エルドアン大統領は黒海で天然ガス田が発見されたことを発表し、採掘が順調に進めば、数年のうちにトルコのGDPを1-1.5%程度押し上げるとの早期の見解も示されました。

ウクライナ： 財務省が2015年の債務再編時に発行したGDP連動のワラント債を10%買い戻しているとの政府の発表を受けて、この特定銘柄が大きく上昇するとともに、ウクライナ資産全体の堅調な動きにつながりました。この発表によって、中央銀行総裁の辞任によって広がっていた不安が緩和されました。



アンソニー・ケトル
エマージング債チーム（社債）
シニア・ポートフォリオ・マネジャー

今後の見通し

3月から続くリスク市場の反発は、ポジティブな成長モメンタム（最低水準からのですが）や多くの経済国で実施されている前例のない景気刺激によって押し上げられていると見ています。ウィルス流行の影響が長引くなか、感染封じ込めがその他地域と比べて上手くいったアジア及び欧州地域ですら、成長モメンタムはやや鈍化傾向にあります。また米国では一部の財政刺激策が期限を迎え、新たな刺激策を巡る合意がないことは、9月を迎えるあたり、一部の投資家が現金化を進めるには十分な材料になると考えています。

EM市場では、下支え要因を欠く通貨市場は弱含みましたが、ハイ・イールド債が主導するなか、クレジット市場は底堅いパフォーマンスが続きました。9月にかけて新規発行市場の活発化が予想されるなか、その多くが価格水準が割高となりつつある投資適格債になりそうなことを踏まえると、クレジット市場の底堅さが試されることとなりそうです。投資適格債は、年初来のスプレッド拡大分をほぼ取り戻しており、米国債市場のボラティリティ上昇に投資家はややナーバスになっています。ただし、依然として、株式市場が堅調で、中期的な成長見通しが不透明な環境においては、金利の大幅な上昇は想定しづらいことから、クレジット市場の調整局面は投資機会であると見ています。

ディスクレーム

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1029号
一般社団法人 日本投資顧問業協会会員、一般社団法人 投資信託協会会員、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員

■手数料等

当社の提供する投資一任業に関してご負担いただく主な手数料や費用等は以下になります。手数料・費用等はお客様の特性、委託された運用金額や運用戦略、運用状況、あるいは当社に係る業務負担等により、下記料率を上回る、又は下回る場合があります。最終的な料率・計算方法等は、お客様との個別協議により別途定めることとなります。

ロング・オンリー戦略					オルタナティブ戦略		
(年率、税抜き)					(年率、税抜き)		
投資対象	投資適格債	イマージング債	レバレッジド・ファイナンス	転換社債	運用戦略	トータル・リターン	絶対リターン
運用管理報酬 (上限)	0.40%	0.70%	0.70%	0.65%	運用管理報酬 (料率範囲)	0.50% - 1.10%	0.90% - 1.35%
					成功報酬 (料率範囲)	0.00% - 20.0%	0.00% - 20.0%

なお、当社との投資一任契約は、原則、運用戦略に応じた外国籍投資信託を投資対象とします。上記手数料には、お客様から直接当社にお支払いいただく投資顧問報酬、外国籍投資信託に対して投資した資産から控除される運用報酬が含まれます。

この他、管理報酬その他信託事務に関する費用等が投資先外国籍投資信託において発生しますが、お客様に委託された運用金額や運用戦略ごとに、あるいは運用状況等により変動いたしますので、その料率ならびに上限を表示することができません。手数料や費用等について詳しくは、弊社担当者にお問い合わせをいただき、契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

■投資一任契約に関するリスク

投資一任契約に基づく契約資産の運用は、原則、戦略に応じた外国籍投資信託を通じて、実質的に海外の公社債、株式等の有価証券や通貨などの価格変動性のある資産に投資を行います。これら有価証券等には主に以下のリスクがあり、株式相場、金利、為替等の変動による価格変動、及び有価証券の発行会社の財務状況の悪化等による価格の下落により、外国籍投資信託等の基準価額が下落し、損失を被ることがあります。従って契約資産は保証されるものではなく、お客様の投資された元本を割り込むことがあります。また、デリバティブ取引等が用いられる場合においては、上記の価格変動等により、元本超過損が生じる可能性があります。運用による損益は全てお客様に帰属いたします。

価格変動リスク：有価証券の価格変動に伴って損失が発生するリスク

為替変動リスク：外国為替相場の変動に伴って損失が発生するリスク

信用リスク：発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により損失が発生するリスク

流動性リスク：市場の混乱等により取引ができず、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失が発生するリスク

カントリーリスク：投資対象国／地域の政治・経済、投資規制、通貨規制等の変化により損失が発生するリスク

なお、契約資産が持つリスクは上記に限定されるものではありませんのでご注意ください。リスクに関する詳細につきましては契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、別途記載のない限り資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社の書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途契約締結前交付書面等をお渡しますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上